

タンクの製造・補修で蓄積した技術力を生かし新たな事業展開を図る ～カワテックス 株式会社～

企業の経営環境がめまぐるしく変わる中、事業のスクラップアンドビルド（再構築）が成長の原動力になるケースは少なくない。4月で創業53年目を迎えるカワテックス(株)も、環境変化に対して柔軟、かつ、攻めの姿勢で事業を展開してきた1社だ。今回は、タンク製造・製罐分野での優れた技術力を生かし、環境関連の装置製造にも積極的に取り組む当社を紹介する。

過去の教訓を生かし安定した事業態勢を構築

当社は、①各種タンク製造、②鋼製地下タンクのFRPライニング、③製罐・鋼構造物製作の3部門各々が、総売上高のほぼ3分の1ずつを占める。もっともこうしたバランスのとれた事業態勢を確立するまでには多くの紆余曲折があった。当社は1960年、ビニールハウスの躯体用鉄パイプなど農業関連の鋼製資材製造を主業として先代社長が創業。その後、80年代には建築向け鉄骨加工に参入し業容を拡大したが、バブル崩壊に伴い受注が激減。河戸社長は鉄骨部門からの撤退を決断するとともに、経営コンサルタントの助言もあって、2000年からはタンク製造に参入。タンク事業は新たな取り組みではあったが、鉄骨加工を通して蓄積された優れた溶接技術などが十分生かされた。以降は経営資源を事業の3本柱にバランスよく投入し、安定かつ順調な推移で現在に至っている。

道内最多の設置数を誇る「SF二重殻タンク」

タンク製造部門で最も得意としウェートの大きいのが「SF二重殻タンク」。これは、主にガソリンスタンド向けの地下埋設型タンクで、特徴はその構造にある。鋼（Steel）の外側にガラス繊維強化プラスチック（FRP）を被覆施工し、殻を2層にしたものだ。仮に内殻（鋼）から内容物が漏れ出したとしても、外殻（FRP層）が土中への流出を防いでくれる。また、タンクの検知層が内殻からの漏れ出しを感知してくれるため、管理面での安



↑ 搬送中の「SF二重殻タンク」

「海洋深層水の貯蔵タンク」（羅臼町）↓

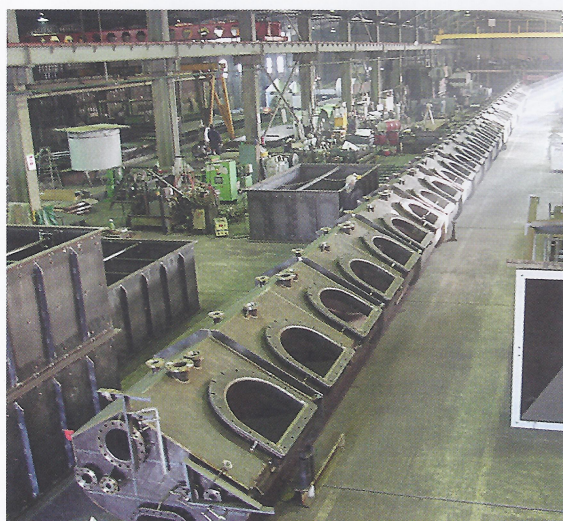


心感も大きい。またFRP層の施工には、継ぎ目や強度ムラが発生しない機械化工法（スプレーアップ工法）を採用。当工法の採用は道内唯一であり、道内では最も多い約2,500本の設置実績を誇っている。このほか、屋外用大型オイルタンク、耐震性防火水槽、圧力タンク（内部の高圧力に強耐性）など様々な用途向けに対応。設置実績に裏打ちされた高い技術力と、幅広いニーズへの対応力が当社の強みとなっている。

地下タンクの老朽化対策に豊富な施工実績

既設の地下タンクは、鋼製で一重殻（単層）のものが多く、経年劣化による腐食などで内

容物が土中に漏れ出す危険が次第に高まるのが難点だ。「強度低下に対し、タンクを入れ替えずに低コストで対処できる方法はないか」。こうした顧客の声をヒントに、06年には、鋼製タンクの内面にFRPを積層施工する「FRP内面ライニング」を事業化した。施工には国の認定を要するが、施工から管理までをトータルに行えるのは道内で4社のみ。中でも当社は、腐食などで荒れた素地の調整に、サンドブラスト（研磨剤をコンプレッサーの圧縮空気に混ぜて吹き付ける方法）を用いるなどFRP層の密着度をより高めるための独自手法を取り入れ、これまで約200本の施工実績を持つ。こうした中、地下タンクからの危険物流出事故が増加していることを受け、昨年2月に改正消防法が施行された。埋設から規定の年数を経過するなど一定の条件に該当する鋼製一重殻の地下タンクに、腐食防止などの対応を義務付ける内容だ。措置すべき具体例には、当社が豊富な施工実績を持つ「内面ライニング」も含まれている。対応の猶予期限（13年1月末）まで1年を切り、ガソリンスタンドを中心に、工場、ビル、マンション、病院、学校など該当施設での駆け込み需要が想定されることから、短期的には当社にとって追い風になりそうだ。



製鋼所向け「ドライメン」の製作（三笠市岡山工場）

環境と高付加価値化をテーマに新たな市場を切り開く

とはいえ、タンク部門では主要顧客であるガソリンスタンドの減少基調が続いており、中長期的にみた地下タンク市場は縮小していくことがほぼ確実だ。こうした中、製鋼所や火力発電所などに向け、排出ガスの精製装置（ドライメン）や排煙管（ダクト）など大型の溶接構造物を製作する製罐・鋼構造物部門では、新たなマーケットの開拓にも積極的に取り組んでいる。例えば、高温高压の蒸気エネルギーを利用する「医療系廃棄物の滅菌装置」。これまで培ってきたエンジニアリング技術と圧力タンクの製造ノウハウが活かされており、資源リサイクルの対象物にすることを最終目標としている。

河戸社長は、「環境関連装置への取り組み強化、FRP素材の新たな活用やグローバル化への対応などで技術力を全国に発信し、数年内に売上高を10億の大台に乗せたい」と先を見据える。時代のニーズを先取りし、新たな市場開拓に注力する当社の今後に期待したい。

（黒龍 隆司）

【会社概要】

本 社 砂川市空知太東1条3丁目2-10
 ☎0125-56-2220 FAX0125-56-2232
 工 場 砂川（本社併設）、滝川、三笠（札幌支店）
 設 立 1980年4月（創業1960年）
 代表者 河戸 三千之
 資本金 9,520万円
 売上高 6億6千万円（10年12月期）
 従業員 44人
 事業内容 各種タンク・プラント機械の設計・製作・
 設置・メンテナンス、鋼製地下タンクの
 内面ライニング、鋼構造物の設計・製作
 URL <http://www.kawatex.co.jp/>